

平成25年 農業・食品産業競争力強化支援事業 事業評価結果(再評価)

※評価 1：事業が適切に実施された場合、2：適正に実施され、更に競争入札を実施した場合、0：それ以外の場合
A：計画以上の成果が見られる、 B：計画通りの成果が見られる、 C：計画どおりの成果が見られない

インデックス ページ	事業名	事業実施主体	事業概要	事業費(千円) (うち国費 千円)	評価	所見	委員からのコメント
19	農業支援ニュービジネス創出推進事業	オロロン菜の花ネットワーク	農業機械の利用に伴うコストの縮減を実現するレンタルビジネスを確立するため、レンタルビジネスモデルの確立に必要な共同利用機械の整備等を行う。	43,425千円 (うち国費21,709千円)	2	・なたね、小麦、大豆、そばを対象とした農業機械のレンタルサービス体制の整備を実施。 ・事業実施主体であるオロロン菜の花ネットワークの会員だけではなく、会員外への機械のレンタルも積極的に行ったことにより、成果目標をおおむね達成。	－
		三菱農機販売株式会社		65,811千円 (うち国費31,810千円)	1	・水稻を対象とした、広域での農業機械のレンタルサービス体制の整備を実施。 ・レンタル営業活動と並行して、ホームページへの掲載による農機レンタルのPRや販社拠点の社員を通じた顧客への紹介など積極的に実施したところ、成果目標を達成。	－
		野村貿易株式会社		5,655千円 (うち国費2,828千円)	1	・ベビーリーフを対象とした農業機械のレンタルサービス体制の整備を実施。 ・レンタルを利用している農業者が複数年継続して使用したため、機械の習熟度が上がり、労働時間が削減されたことから、成果目標を達成。今後も、レンタル事業をPRし拡大していくこととしている。	－
		大西農機株式会社		9,420千円 (うち国費4,486千円)	1	・水稻、大豆、小麦を対象とした農業機械のレンタルサービス体制の整備を実施。 ・レンタル農業機械の利用率の改善に向けて、トラクターアタッチメントの拡充や認知度をあげるためのチラシの配布等のPRを積極的に実施したところ、農業機械レンタルの認知度が高まり、成果目標を達成。	－
20	青果物鮮度保持技術・新流通システム実証事業	士幌町農業協同組合	加工用ばれいしょの安定的・計画的な供給体制を構築するため、長期鮮度保持技術の実証、貯蔵施設の整備等の取り組みを実施。	81,388千円 (うち国費38,920千円)	C	・加工用ばれいしょについて、エチレンを用いた発芽抑制貯蔵技術の導入により、実需者ニーズの高い高品質な原料の安定供給体制の構築等の取組を実施。 ・本取組により、出荷期間の延長や貯蔵中の品質維持等の効果はみられるものの、成果目標の達成はなされなかった。 ・今後、改善計画の策定及び達成に向けた取組等への指導を実施していく。 ・今後は、目標達成に向けた改善計画策定を指導し、目標達成に向けた取組を継続していく。	－
		川上物産農業協同組合	青果物（キャベツ、ブロッコリー等）の安定的・計画的な供給体制を構築するため、輸送の効率化・集荷体制の一元化に向けた検討会の開催、長期鮮度保持技術の実証、集出荷貯蔵施設の再編整備等を実施。	74,579千円 (うち国費 35,527千円)	B	・青果物の安定的・計画的な出荷を実現するため、青果物輸送の効率化に向けた取組を実施。 ・集荷貯蔵体制の一元化や輸送費低減に向けた検討会、輸送に適する品種の導入等を実施したもの、成果目標の達成はなされなかった。 ・今後、改善計画の策定及び達成に向けた取組等への指導を実施していく。 ・今後は、目標達成に向けた改善計画策定を指導し、目標達成に向けた取組を継続していく。	－
		島原雲仙農業協同組合	青果物（きゅうり、いちご、かぼちゃ等）の安定的・計画的な供給体制を構築するため、輸送の効率化・集荷体制の一元化に向けた検討会の開催、貯蔵施設の再編統合等の取り組みを実施。	51,802千円 (うち国費 24,821千円)	C	・青果物の安定的・計画的な出荷を実現するため、青果物輸送の効率化に向けた取組を実施。 ・集荷貯蔵体制の一元化や輸送費低減に向けた検討会、輸送に適する品種の導入等を実施したもの、成果目標の達成はなされなかった。 ・今後、改善計画の策定及び達成に向けた取組等への指導を実施していく。 ・今後は、目標達成に向けた改善計画策定を指導し、目標達成に向けた取組を継続していく。	－